

ネット応化会について

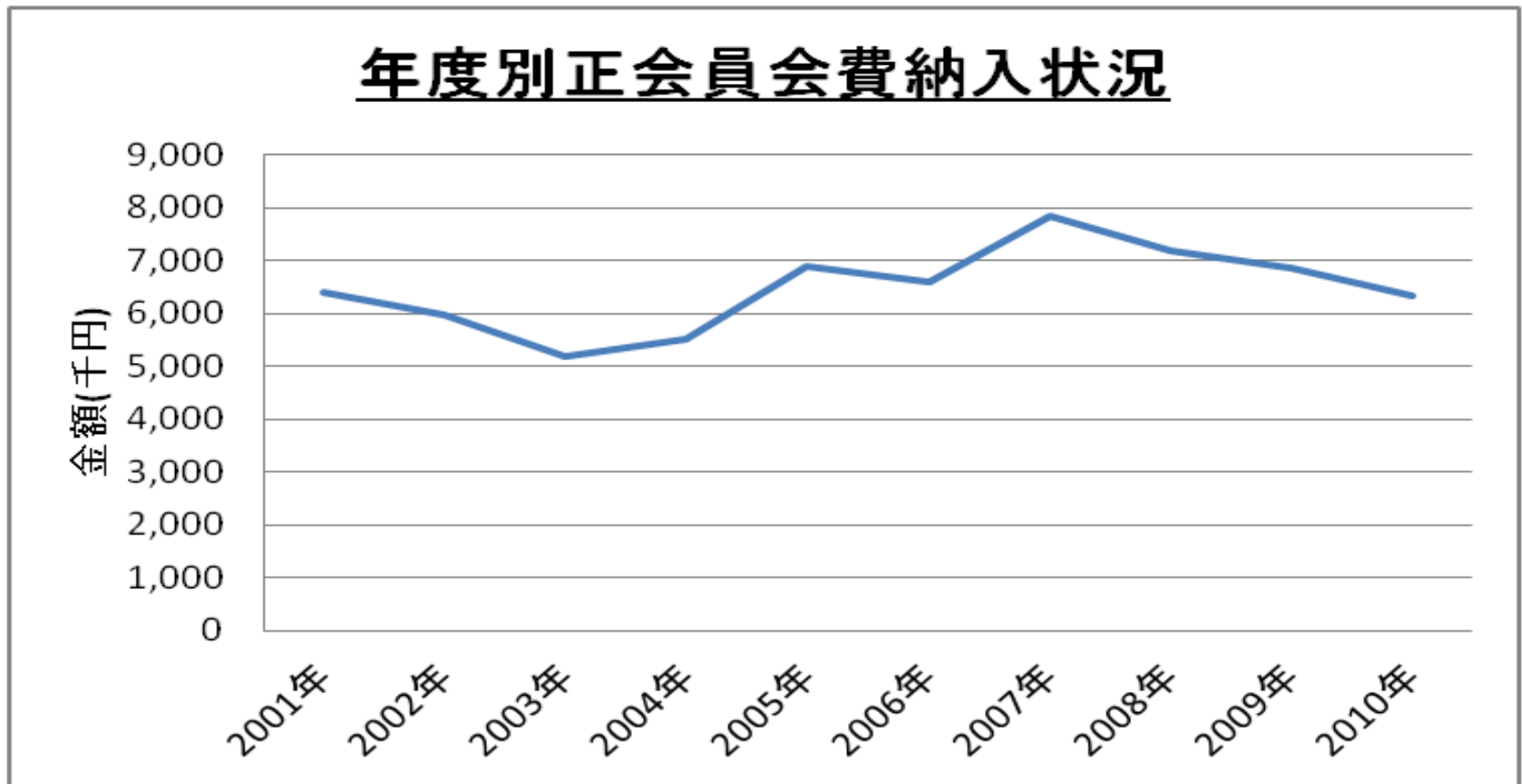
1

平成**24**年**5**月**26**日
早稲田応用化学会
基盤委員会

1. ネット応化会設立の背景

- 応用化学会は、近年の活性化活動を通じて、卒業生、教室、学生の一体化の面で成果を上げつつあるが、その健全な運営と継続性の維持の面では、改善すべき問題を抱えている
 - 運営の基盤となる、年会費が減収気味である
 - 健在会員の住所把握率、会費納入率が、現役OBの若い世代ほど低くなっている
 - ✦ 住所不明により、活動の内容、意義が通知できない
 - ✦ 現役世代は、業務多忙、遠隔地勤務などから、行事に参加できず、応化会活動に対する関心も低い
- 状況を改善するため、基盤委員会が中心になって、様々な手を打ってきたが、このままでは限界があり、新たな対策を講じる必要がある
 - 健全な運営サイクル(魅力ある活動の企画→周知徹底→会員の自発的参加・支援→基盤の安定化)に乗せるためには、コミュニケーションのパイプをさらに太くする必要がある
 - 特に現役世代とのコミュニケーションの改善がカギとなるので、Web上で、双方向の通信が可能になるコミュニティを構築する
 - ✦ 従来の通信方法での情報は、Web上にも掲載する
 - ✦ 行事に参加できなくても、会員からの提案や要望ができる場を作る
 - ✦ 現役OBだけでなく、シニアOBや教室とのコミュニケーションも可能とする

活動の基盤となる年会費の納入状況は、近年減少傾向にある

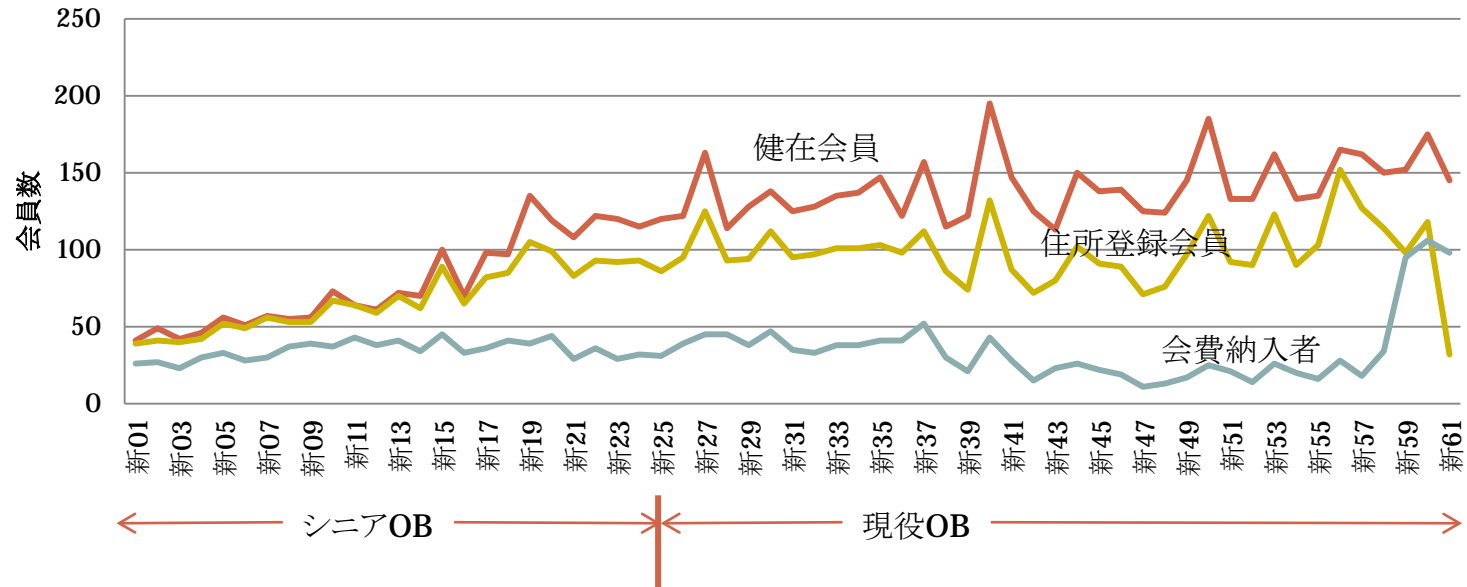


会員の年代別住所把握状況並びに年会費納入状況

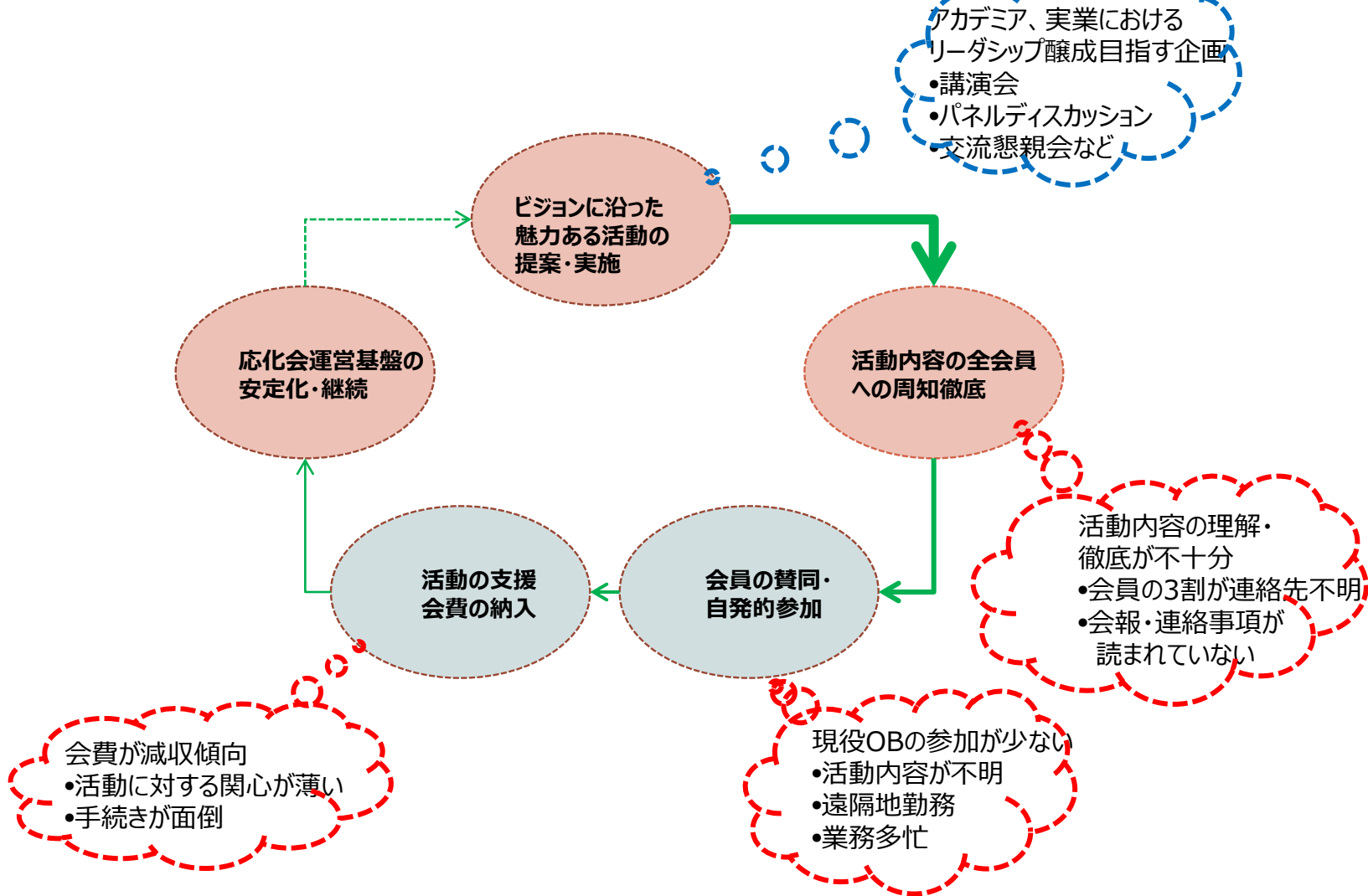
(現役OB、特に卒業後15年ぐらいまでの若手OBの住所把握率、会費納入率ともに低い)

| | シニアOB | 現役OB | | 合計 |
|------------|-------|-----------------|-----------------|-------|
| | 新25以前 | 卒後30年 新26-43 | 卒後15年 新44-61 | |
| 健在会員数 | 2,588 | 2,433 | 2,651 | 7,672 |
| 住所登録会員数 | 2,037 | 1,757 | 1,787 | 5,581 |
| 会費納入者数 | 1,014 | 652 | 609 | 2,275 |
| 住所登録率 | 78.71 | 72.22 | 67.41 | 72.75 |
| 会費納入率(全) | 39.18 | 26.80 | 22.97 | 29.65 |
| 会費納入率(住登録) | 49.78 | 37.11 | 34.08 | 40.76 |

卒業年度別傾向

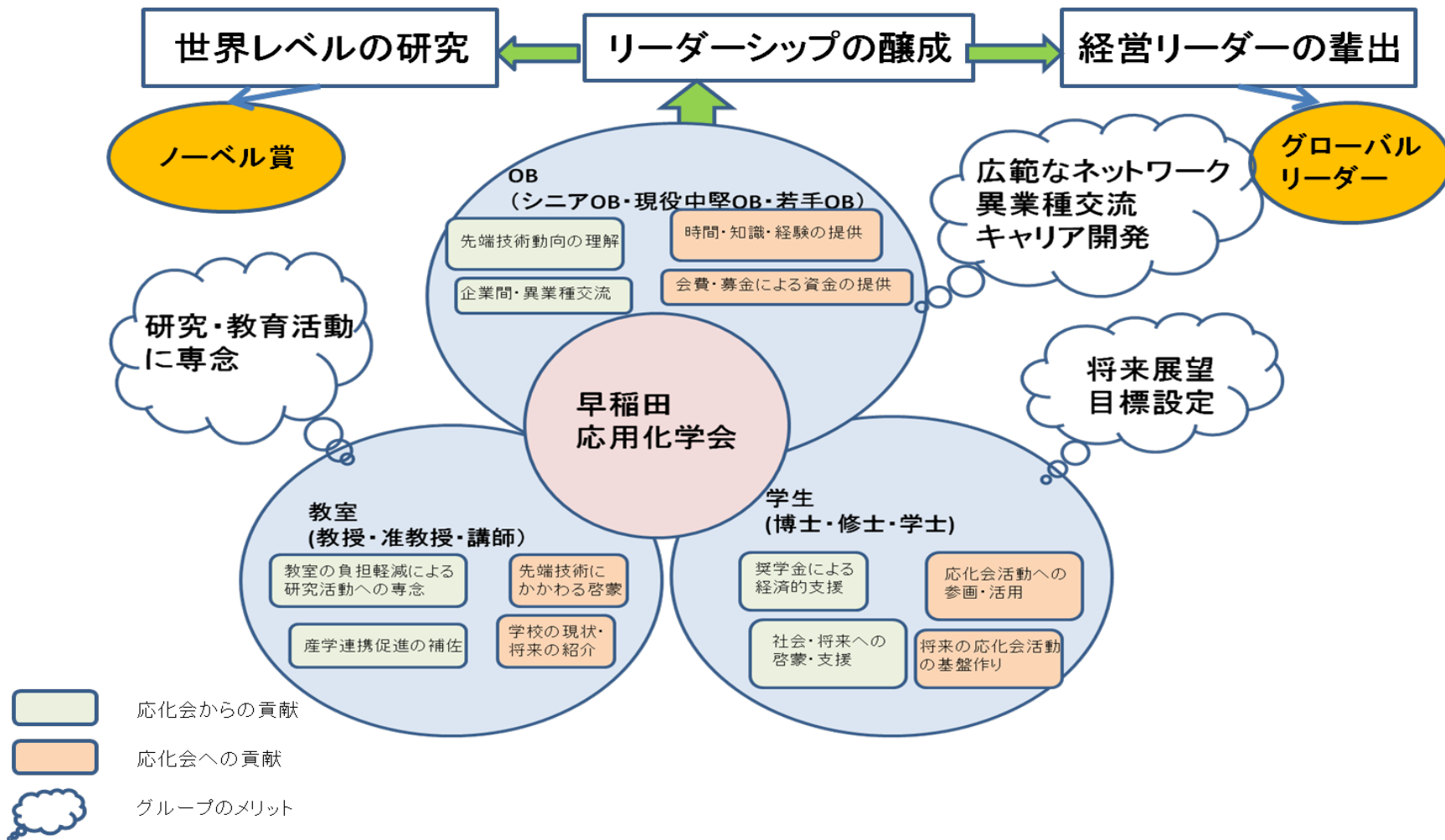


応用化学会の健全な運営のためには、先細りのサイクルの改善が必要。活動の内容が周知徹底できておらず、会員の自発的参加に結びついていないことが問題

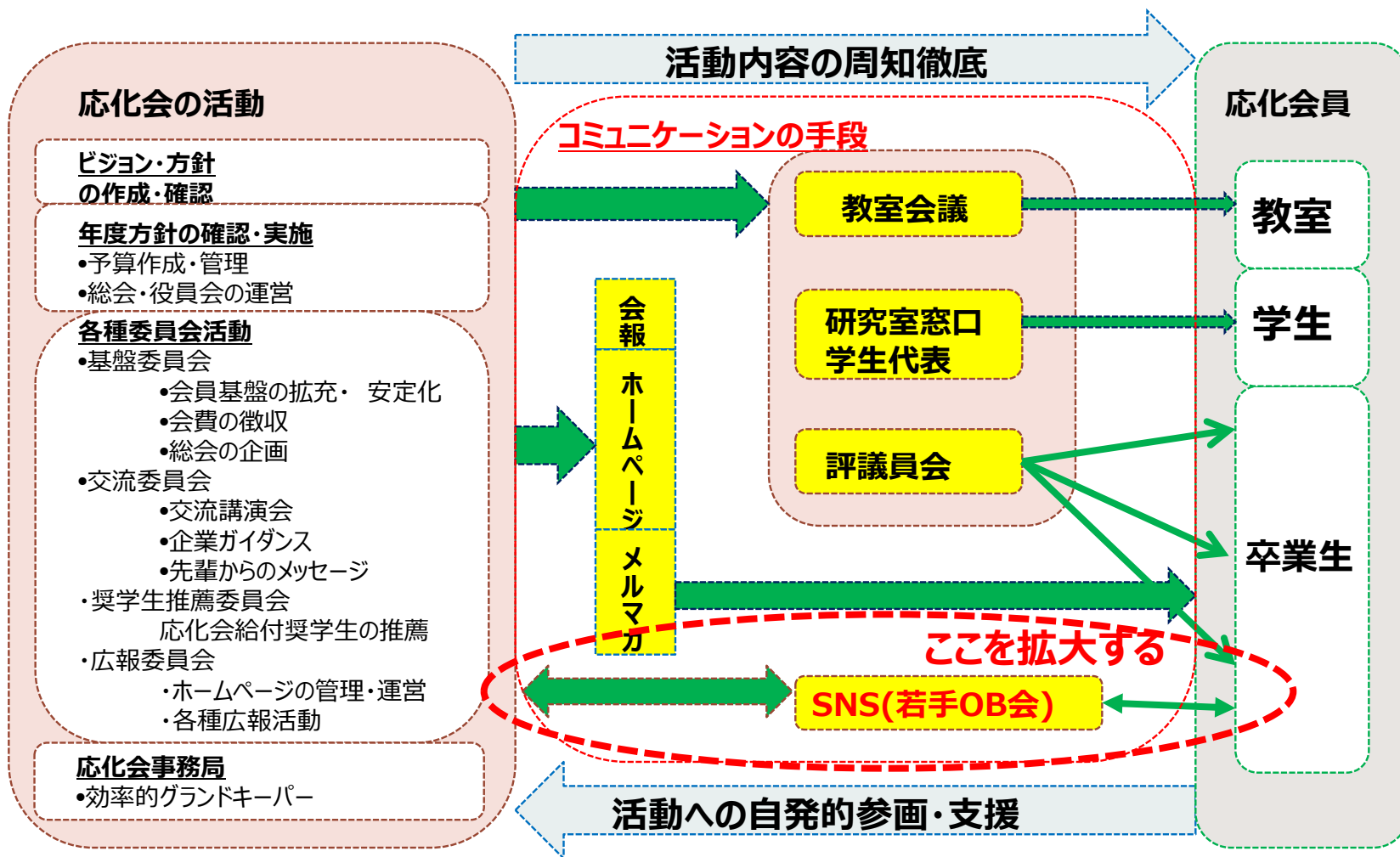


魅力ある活動の創出は、すでに始まっている

卒業生、教室、学生の総合力を基礎に、リーダーシップの醸成に貢献するというビジョンに基づく各種講演会、パネルディスカッション、交流会など



会員の自発的参画・支援を拡大するためには、より多くの会員に活動の内容を理解し、自由に参加してもらう場が必要となる・・・従来の伝達手段に加えて、多忙な会員でも参画可能な、Web上での双方向通信を拡大する



2. ネット応化会の概要

- 平成23年度に1年間、卒業後10年ぐらいまでの若手OB対象として、SNS(注1)を活用した「若手OB会」を発展的に解消し、「ネット応化会」とする。
- SNSはLinkedIn(注2)を利用し、早稲田応用化学会会員のためのクローズドコミュニティとする。
- 業務多忙、遠隔地勤務などで行事に参加できない現役OBの参加を促進させるためのものではあるが、メンバーの対象は、Web上での参加が可能な全会員とする。
- 「ネット応化会」は、Web上のコミュニティとして次の役割を果たす。
 - 応用化学会からは、通常の会員への連絡・伝達事項をすべて掲載する。
 - ✦ ホームページ、会報などに掲載される報告事項、行事案内など
 - ✦ 資料庫を開設し、講演会その他会員相互の興味の対象となる資料の保管、開示
 - 会員から応用化学会への要望・提案
 - 会員相互の共通の関心事に関する記載、意見交換
- ネット応化会の運営は、添付の運営方針に準ずる。
 - ネット応化会の健全な運営のために、基盤委員会の中にSNS委員会を設ける
 - SNS委員は、基盤委員会から委託され、運営の支援をするとともに、メンバー拡大の核となる
 - 卒業後15年以内の若手SNS委員の中から選出された「幹事グループ」がサイトの運用、管理に責任を持つ

ソーシャルネットワークサービス(SNS)について

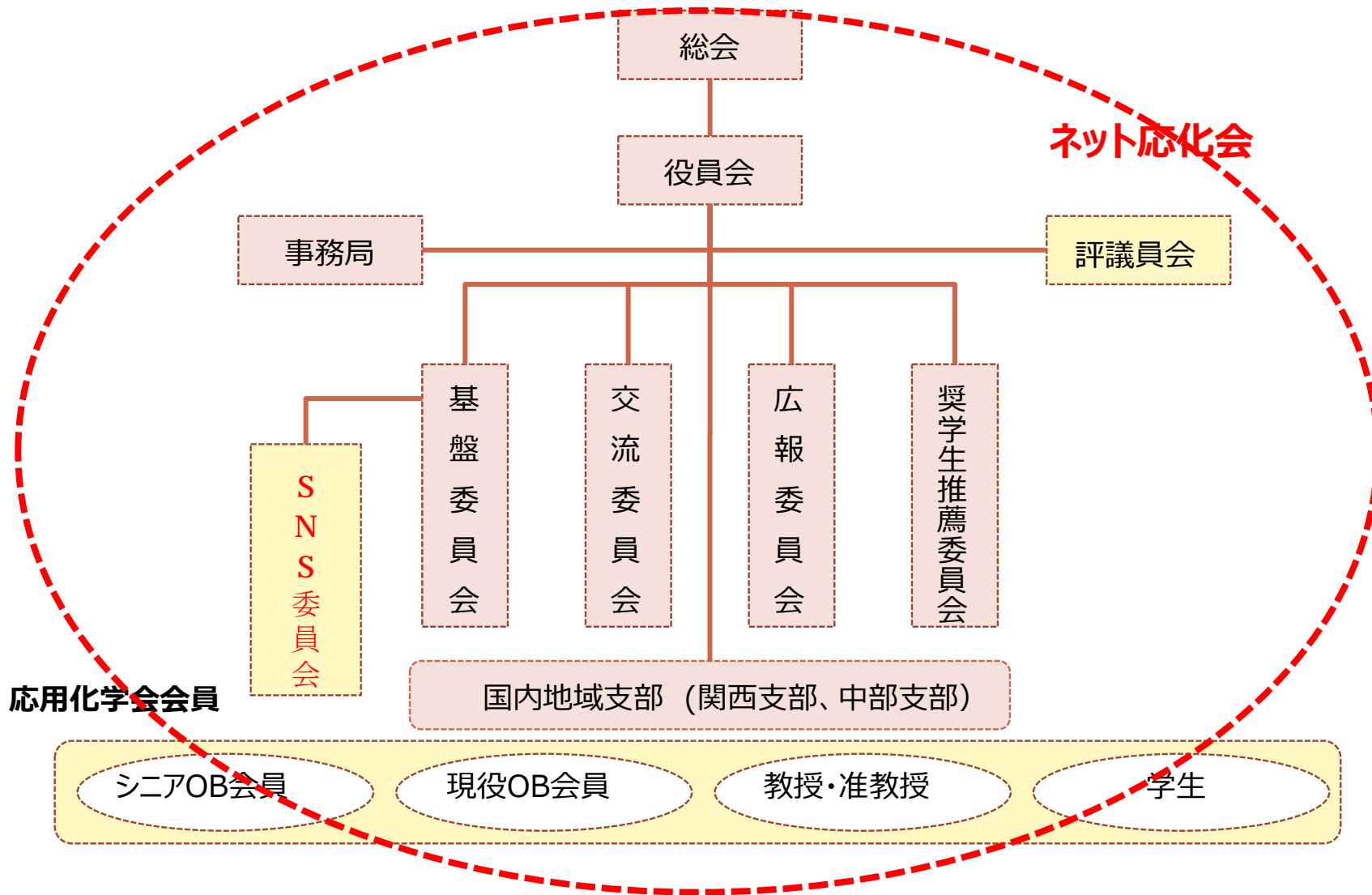
- (注1)SNSとは

- 人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のWebサイト。友人・知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や場を提供したり、趣味や嗜好、居住地域、出身校、あるいは「友人の友人」といったつながりを通じて新たな人間関係を構築する場を提供する、会員制のサービスのことである。
- 主なSNSサイトは、次のようなものがある。
 - ✕ Facebook
 - ✕ LinkedIn
 - ✕ Mixi
 - ✕ GREE
 - ✕ Myspace

- (注2)なぜLinkedInか？

- LinkedInは、全世界で1億人以上の会員を有する、ビジネスを中心とするプロフェッショナル用のサイトである。
- 実名登録が必要であり、同じ背景をもったものでグループを構成し、クローズドコミュニティを作ることができる。
- 「若手OB会」で1年間テストを行い、効果を実証できた。

ネット応化会とSNS委員会の組織的位置づけ



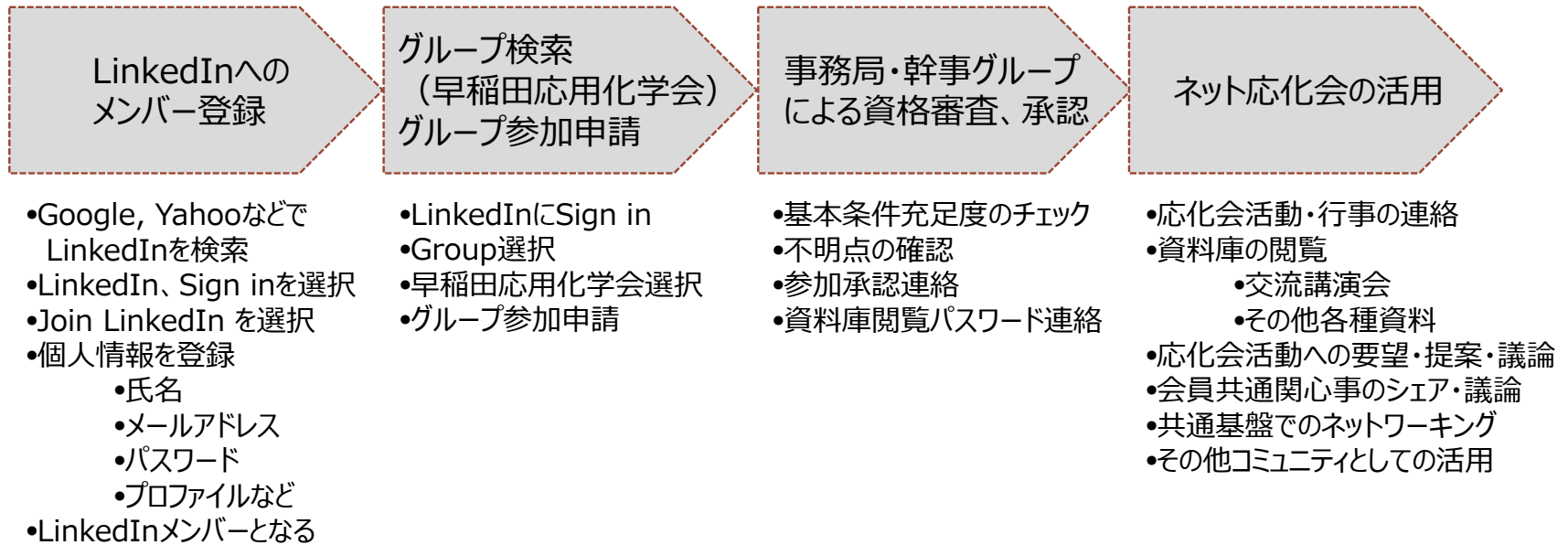
平成24年度SNS委員並びに幹事グループ

ネット応化会のスタートに当たっては、以下のメンバーをSNS委員とするが、状況を見ながら、変更、追加をする。

| 分類 | 所属 | 氏名 | 分類 | 所属 | 氏名 |
|------------|--------------|--------|--------------|----------|--------|
| 教室関係グループ | 教授 | 平沢 泉 | 若手OB会・幹事グループ | 日立造船 | 澤村 健一 |
| | 教授 | 菅原 義之 | | (独)土木研究所 | 百武 壮 |
| | 助教(西出・小柳津) | 須賀 健雄 | | 伊藤忠商事 | 息 えりか |
| | 同上 | 中島 聡 | | 菅原研究室 | 斉藤 ひとみ |
| | 助教(逢坂・本間・門間) | 秀島 翔 | | 理事 | 細田 拓 |
| | 助手(同上) | 國本 雅宏 | | 交流委員会 | 河野 恭一 |
| 現役OB理事グループ | 助手(菊池・松方・関根) | 田中 啓介 | 応化会委員グループ | | 中川善行 |
| | 助手(木野・桐村) | 本田 裕樹 | | | 河野善行 |
| | エネルギーアドバンス | 三浦 千太郎 | | | 相馬 威宣 |
| | JX日鉱日石エネルギー | 下村 啓 | | | 平中勇三郎 |
| | 東芝 | 波多野 吾紅 | | | 野際基実 |
| | 昭和電工 | 白田 雅彦 | | | 見並勝佳 |
| | 富士フィルム | 松田 直人 | | | 大矢毅一郎 |
| | ブリジストン | 和田 宏明 | | | 窪田信行 |
| | 野村総研 | 岩元 由紀子 | | | 森啓 |
| | NTTビズリンク | 山田 賀子 | | | 廣谷修 |
| | 富士ゼロックス | 関 三枝子 | | | 中井裕夫 |
| | | | | | 柴田実 |
| | | | 長門英俊 | | |
| | | | 高橋 宏 | | |
| | | | 応用化学会事務局 | | |

3. ネット応化会への新規登録および活用

ネット応化会への新規メンバー登録は、まずLinkedInのメンバーになり、Groupの中から早稲田応用化学会への参加を申請し、事務局、幹事グループで承認の上、正式メンバーとなる



4. 今後の対応

- ネット応化会で活用するSNSは、「若手OB会」で、1年間テストを続けてきたが、今後まだ新たな検討課題が出る可能性もあり、SNS委員会を中心に改善を続けますので、柔軟な対応をお願いします。
- ネット応化会を健全に運営してゆくため、「ネット応化会運営細則」の遵守をお願いします。